



代々木ポニー公園前道路の利活用に向けたワークショップ

第2回：イベントの企画を考えよう！

2026 年 8 月 28 日（金）
渋谷区土木部企画管理課



●渋谷区は、西参道エリアの新たな価値を創造する「西参道プロジェクト」の一環として、当地区における“利活用による日常的な賑わいづくり”を行い、当地区を「誰もが、いつでも、気軽に、地域のルールに沿って利活用できる“みち”」にしていきたいと考えています。

●そのために

- ・制度として、「歩行者利便増進道路制度（通称：ほこみち制度）」の活用
- ・仕組みとして、道路利活用の「手引き」の作成と、WEB サイト（SHIBUYA CREATIVE JUNCTION）の運用を予定しています。

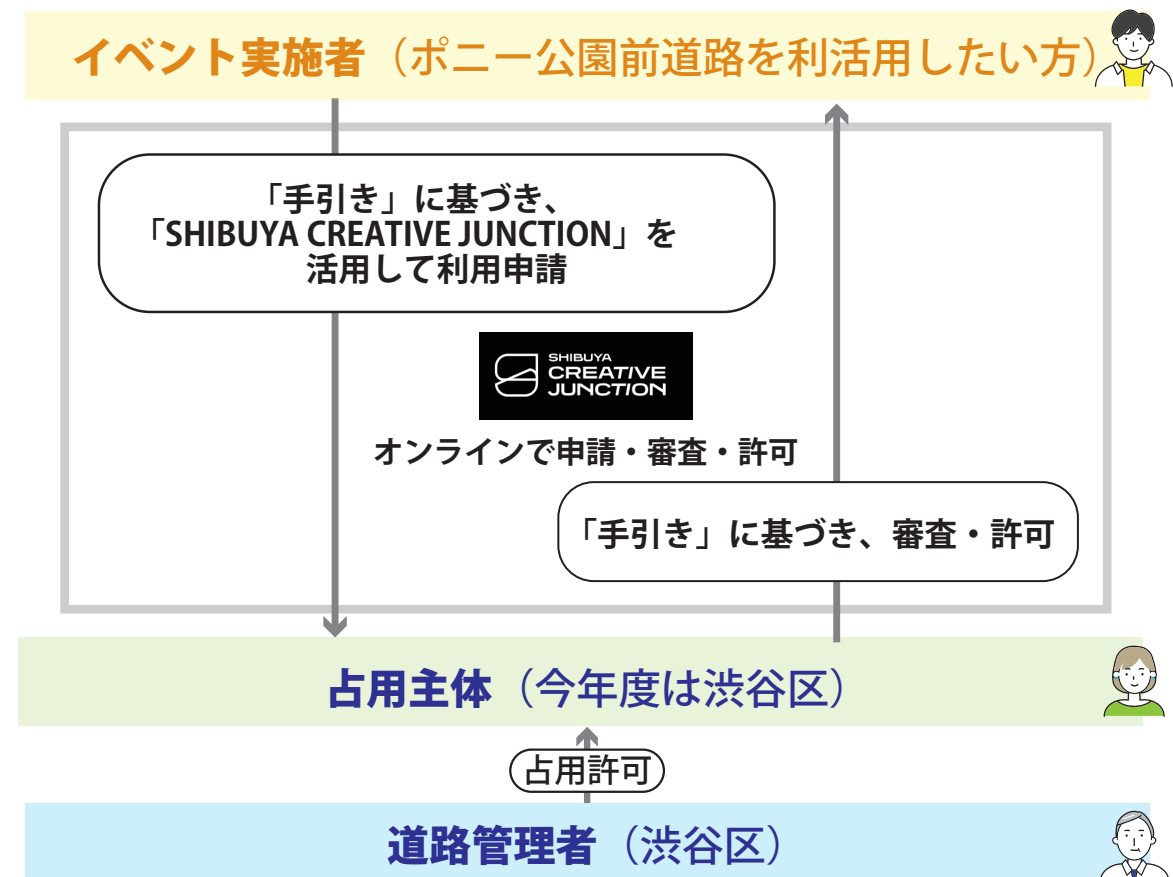


■ほこみち制度のイメージ



※ほこみち内に指定された特例区域には、テラスやオープンカフェ等を設置できます。

■仕組みのイメージ



- 第1回ワークショップ（7月31日開催）では、3班に分かれて、当地区で目指す賑わいのイメージについて、ご議論いただきました。



A班

●テーマ：つながる

～親と子の繋がり、地域コミュニティ、馬と人、思い出記憶～

- ・昼間：親はマルシェやピクニックで青空飲食をして「**和やかな休息**」、子はかるた等の昔遊びや動物と「**ふれあう**」、更に子は絵やスポーツ等、思い切りを「**表現する**」場とする
- ・夜間：馬との共存可能の時間のため「**焚火 × 花火**」を実施し、「神宮外苑手持ち花火大会」として名物化させる

B班

●テーマ：大人も楽しめる

～オリンピックセンター様のキッズフェスタと被らない、親子をターゲットとした取組～

- ・昼間：**大人が楽しめるマルシェ**等をベースに、親子で学べる**交通ルール教室**や**移動動物園**、**人間将棋**、**昔あそび**等を組み合わせる
- ・終日：**ピクニック**や回遊させる**スタンプラリー**
- ・夜間：大人が**焚火**でゆっくり**お酒**を飲んだり**映画**を見ている横で、子どもは手持ち花火をする

C班

●テーマ：ひとつのことに拘らずに色々なことをする

～周りのイベントと連携する、通行者を巻き込む、地域の資源を活かす～

- ・ものごとにこだわらない、**様々な体験ができるスペース**
- ・**明治神宮様**や**オリンピックセンター様**と**連携**した取組
- ・ほかではなかなかできない火を使った**焚火・花火**など
- ・実施場所が限られている**モルック**や**ピックルボール**等の**スポーツ**
- ・**餅つき大会**、**100m走**、**ラジオ体操**、**盆踊り**、**マーケット**、**屋台村**

- 第1回ワークショップのご意見を踏まえて、事務局として10月に実施するイベントの大きなテーマと実施日時を設定しました。

1. テーマ

つなぐ

みち（当地区）とまち（周辺施設等）をつなぐ／子どもと大人をつなぐ／昼と夜の時間をつなぐ

2. 実施日

- ・2026年10月25日（日） 日中～夜間
※オリンピックセンター様のキッズフェスタ（10:30～15:30）と同日開催

3. 取組内容（第1回ワークショップ意見の大まかな方向性）

【昼】

- ・大人向けのマルシェや酒類等の販売、子どもの体験や表現（遊び・スポーツ関連）、ピクニック等の休息等

【夜】

- ・焚火を囲んで和む、子供向けの手持ち花火大会等

⇒取組内容は後ほど事務局のベース案を基にワークタイムで意見交換させていただきます。



●取組内容や会場配置を検討するうえで、周辺施設や関係機関にヒアリングを行い、前提条件を整理しました。



【昼間】

- ・馬に影響のない取組であれば実施可能（音・光 NG）。
- ・乗馬倶楽部様の裏門の前を空ける。
- ・オリンピックセンター様の OUT 車両（チェックアウト後（10:00 頃）にバスが数台）を妨げない。
- ・明治神宮様への IN・OUT 車両（OUT は開門～閉門（16:40）に 300 台（1 時間に 30-40 台）、IN は 1 日に 6 台程度）の通行を妨げない。
- ・緊急車両の通行のために、車道の片側（2 m 程度）は空ける。
- ・車道に飛び出す恐れのあるもの（ボール・動物等）の取組は難しい。
- ・歩行者の動線も確保することが必要。
- ・オリンピックセンター様の北門を開放いただける。

【夜間】

- ・馬は厩舎に戻るため、音や光を出す取組も可能。
- ・明治神宮様の閉園後（17:00 以降）は、通常の車両は通行しない。
- ・乗馬倶楽部様の裏門の前を空ける
- ・緊急車両の通行のために、車道の片側（2 m 程度）は空ける。
- ・火を使った取組については、花火は実施可能。焚火は実施不可（東京都環境確保条例に抵触）。

●前提条件から会場として使用できる範囲は以下の着色部分となります。



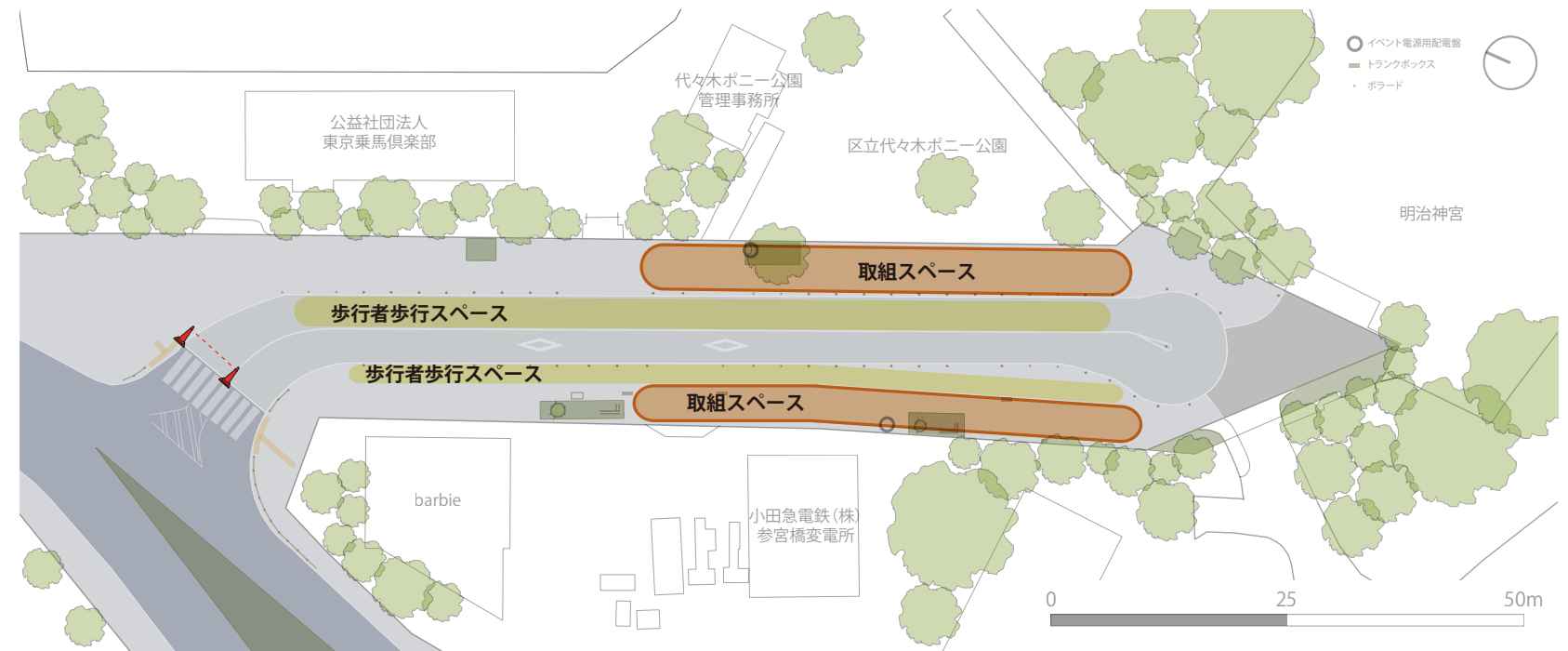
昼間

歩道部のみを活用した会場レイアウト
＝日常的な賑わいの試行

【活用可能範囲】

- ・北側歩道：5 m
- ・南側歩道：4 m※

※歩道幅員（6 m）－歩行者通行スペース（2 m）



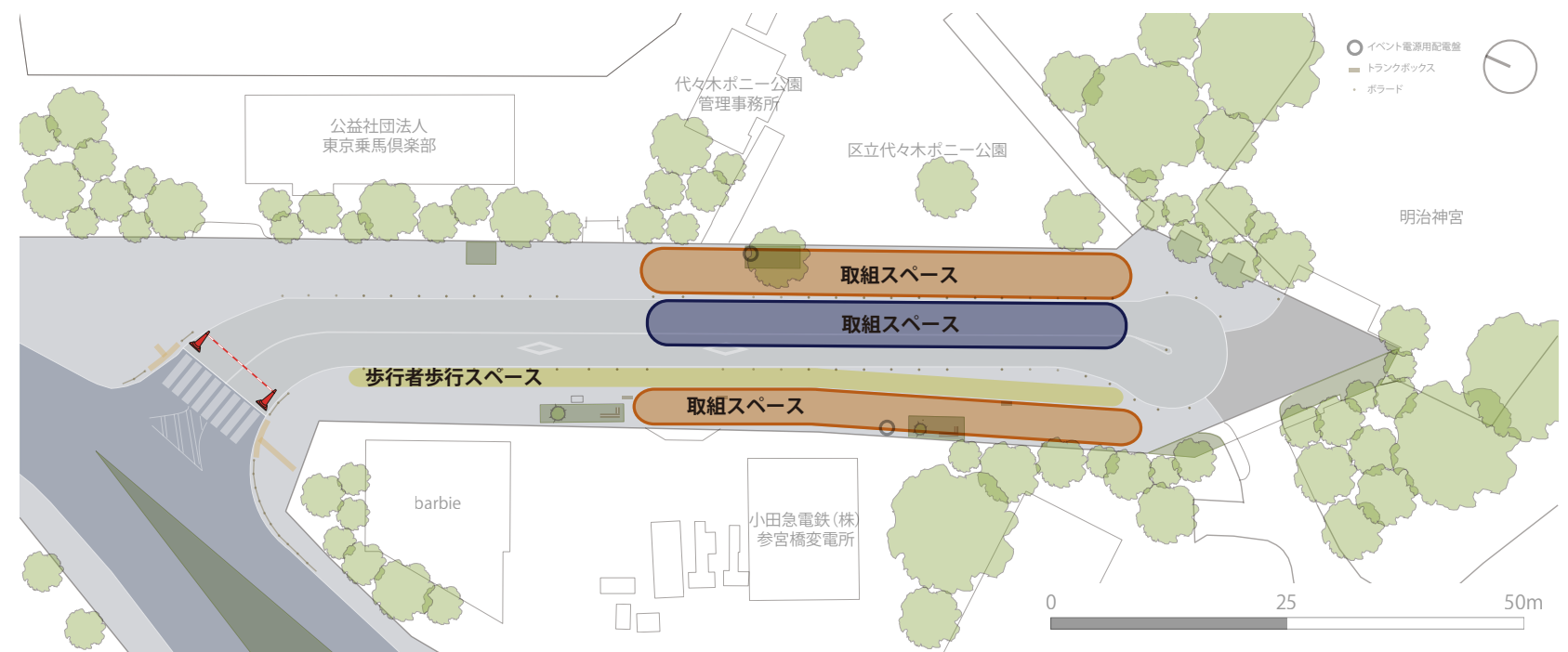
夜間

道路全体を活用した会場レイアウト
＝広場的な活用の試行

【活用可能範囲】

- ・北側歩道：5 m
- ・南側歩道：4 m
- ・北側車道：5 m※

※車道幅員（7 m）－車両通行スペース（2 m）



【A案：大人向けメイン】



昼（14:00 頃～）

シームレスに場面転換
(10/25 の日没は 16:55)

チル・アウト・ピクニック

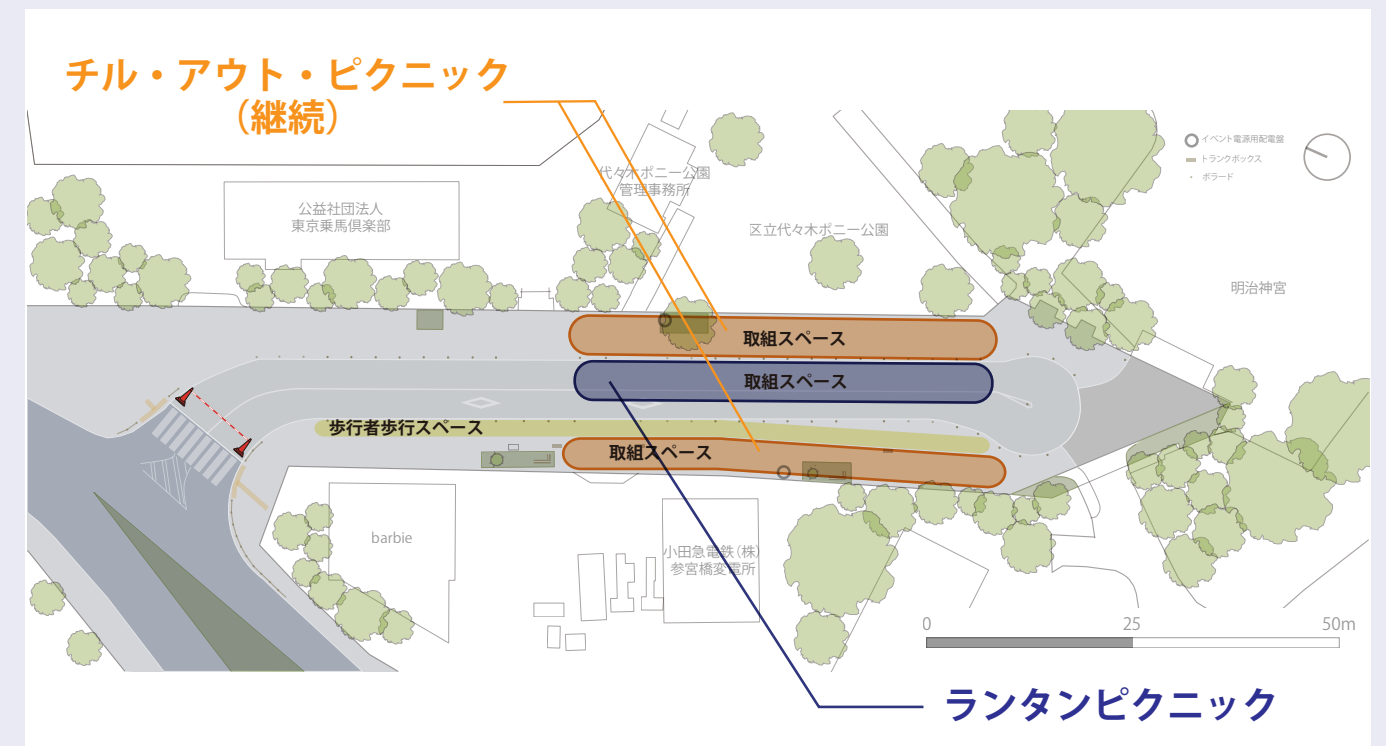
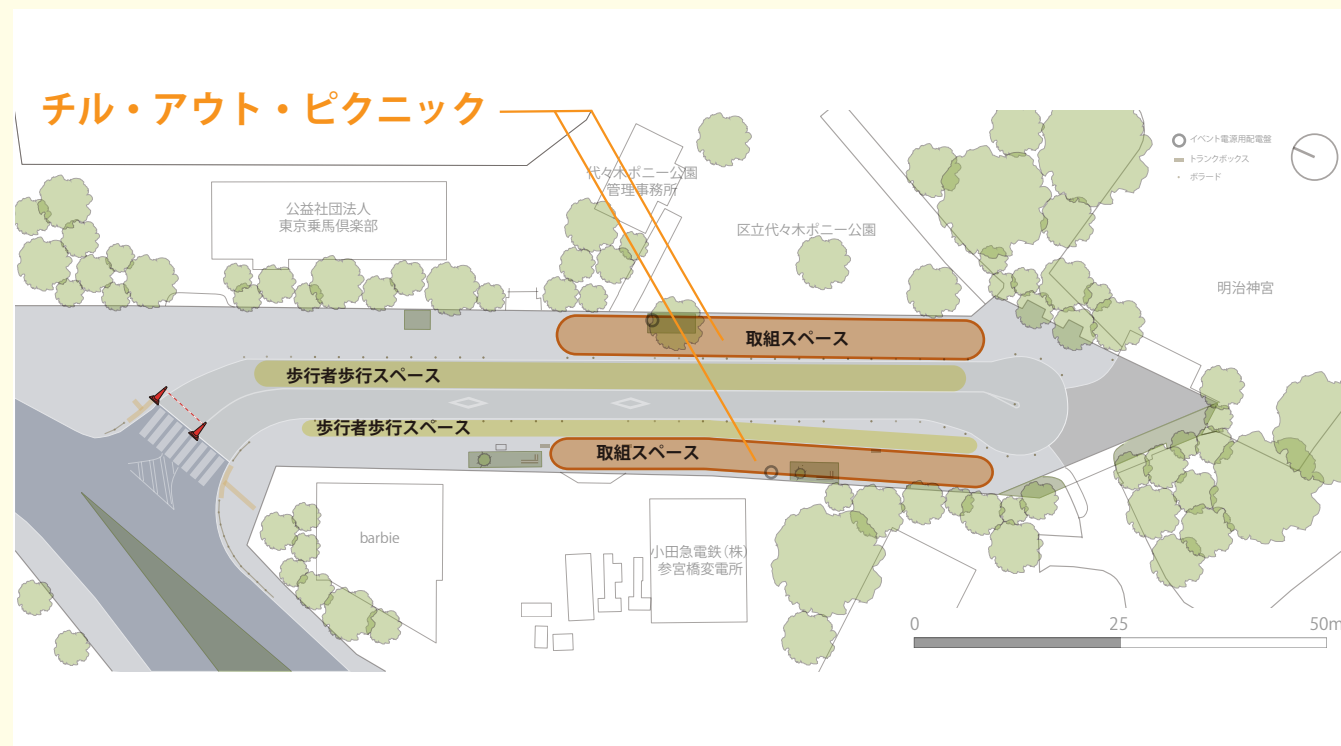


継続

夜間（17:00 ～ 19:00 頃）



ランタンピクニック



【B 案：子ども向けメイン】



昼（14:00～17:00 頃）

シームレスに場面転換
(10/25 の日没は 16:55)

夜間（17:00～19:00 頃）



みちであそぼう

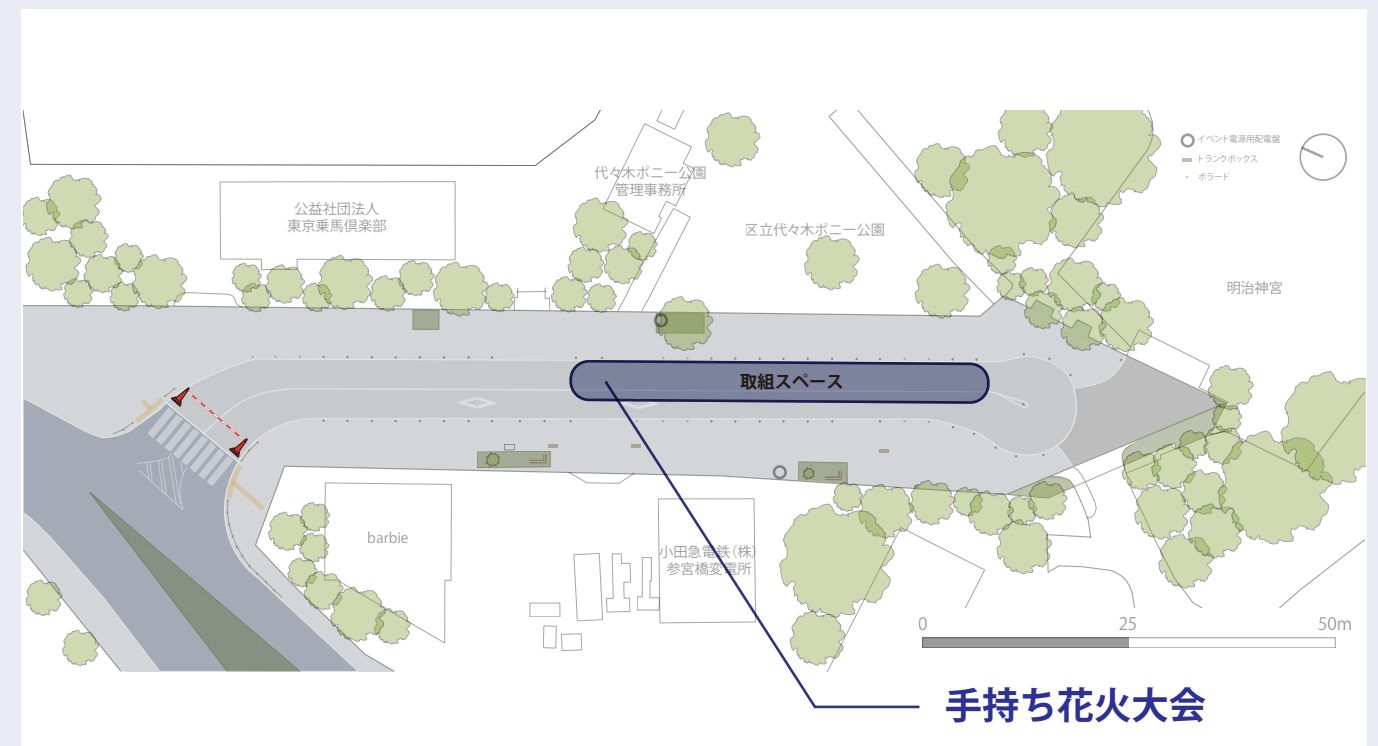
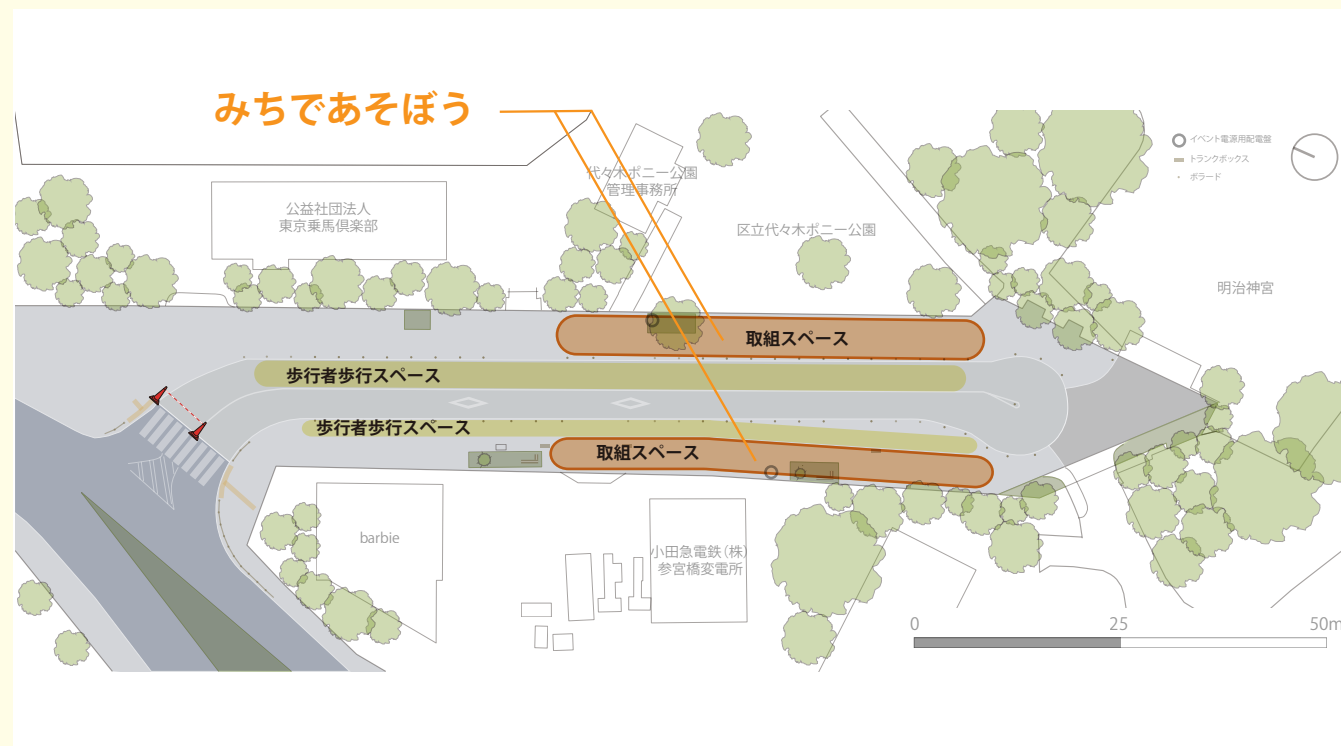


切替

手持ち花火大会



※火を活用する取組は車道内で実施（燃え移り防止のため）



- 説明の通り、事務局として A 案（大人メイン案）・B 案（子どもメイン案）考えてきました。
- A 案・B 案どちらが良いか、A 案・B 案のシャッフル案等について考えていただき、班として、**どの場所（歩道 or 車道）で、どの時間（昼 or 夜）に、何をするか**をまとめられればと思います。

【グループワーク（50 分程度）】

①各者より自己紹介

②各者考える時間（5 分）

- ・お手元のモニタージュや図面を見ていただきながら、A 案・B 案どちらが良いかやシャッフル案等について考えていただく
- ・**黄色付箋には昼間に関するお考え、水色付箋には夜間に関するお考え**をご記入

③発表の時間（2 分 × 5 人 = 10 分）

- ・考えていただいた内容を発表いただく

④議論の時間（30 分）

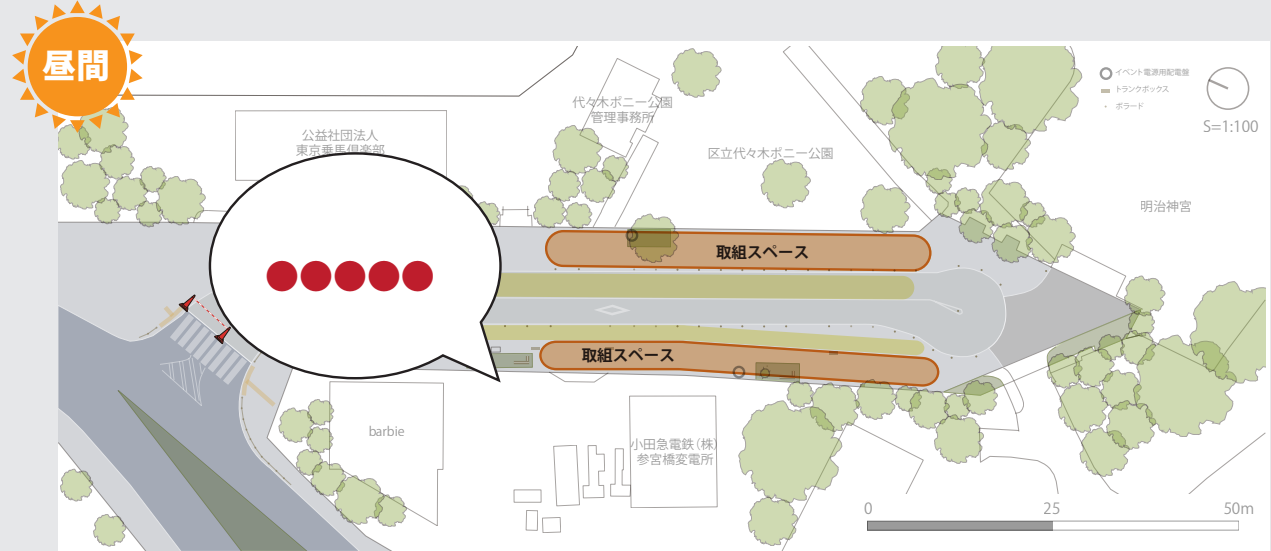
- ・各者の発表を踏まえて班として意見をまとめる



【ワークの成果イメージ】

X 班 : ●●●●●

昼間





●●●●●

●●●●●

●●●●●

●●●●●

●●●●●



●●●●●

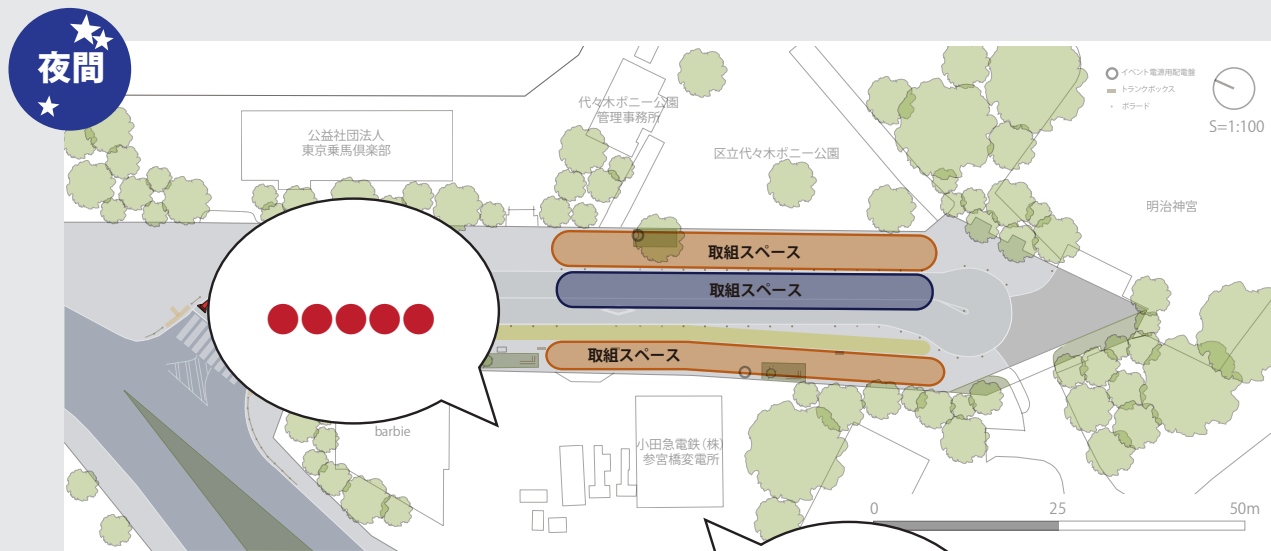
●●●●●

●●●●●

●●●●●

●●●●●

夜間





●●●●●

●●●●●

●●●●●

●●●●●

●●●●●



●●●●●

●●●●●

●●●●●

●●●●●

●●●●●



【日程】

●第3回ワークショップ

・9月18日（金）18:30～20:00@はつらつセンター参宮橋

⇒イベントの企画の最終案をパネルとして展示します。

予約等は不要ですので、ご都合のつく方はお時間内にお越しくださいませ。

●イベント

・10月25日（日） 昼間～夜間

⇒皆様と企画したイベントを現地で実施します。ぜひお越しください！

